

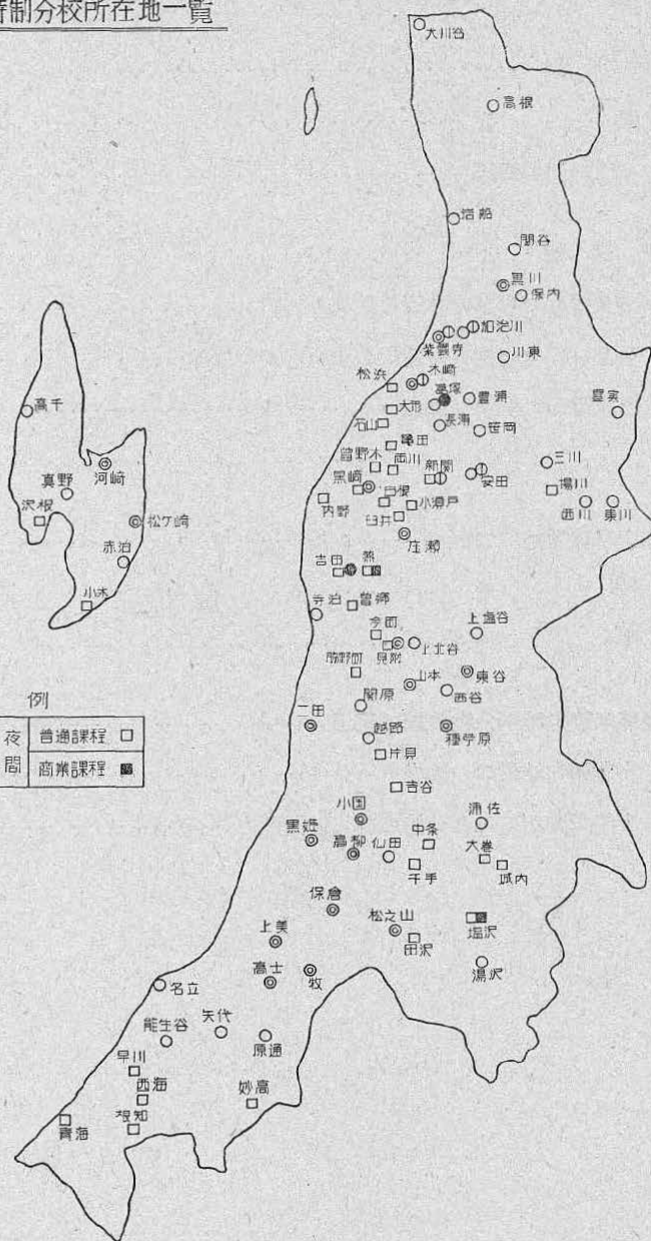
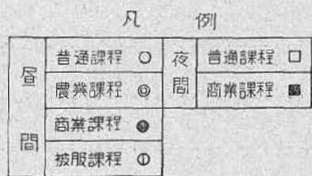
高等学校定時制分校施設基準作成に関する研究

高等学校定時制分校施設基準作成に関する研究

＝ 目 次 ＝

1. 序 説	1
1.1 趣 旨	1
1.2 研究経過の概要	1
2. 基 準 試 案	3
2.1 普通課程ならびに各課程共通の施設	3
2.2 普通課程で職業科目選択の場合必要な施設	4
2.3 職業課程に必要な施設	4
2.4 解 説	4
3. 校地および実習地について	5
3.1 校 地	5
3.2 実 習 地	6
4. 県内高等学校定時制分校施設の現況	7
4.1 実態調査結果の一覧表	7
4.2 実態調査からみた分校の現状と問題点	27

定時制分校所在地一覽



高等学校定時制分校施設基準作成に関する研究

1. 序 説

1.1 趣 旨

本県高等学校定時制の施設基準については、定時制のみを置く独立高等学校の施設基準表が、昭和28年県教育委員会から発表され、定時制分校の施設については、それにひきつづいて作成される予定になっていたものようであるが、その後打ち切られてそのまま今日に至っている。一方県内各分校の施設は概して貧弱であって、今日ようやくこれが充実の機運に向かいつつあるが、その充実計画を進める上に、何か基準になるものが欲しいという現場からの要望が高まっている。ここに県教育委員会は本年度教育施策の大綱の中に、「高等学校定時制分校

施設設備基準作成に関する研究」としてこの問題を取りあげ、本研究所がその研究に当たってきたわけである。

ただし、設備の面については、「高等学校定時制教育及び通信教育振興法施行規則」の中に分校としての設備も詳しくあがっているので、この研究はもっぱら施設の面にその範囲を限ることとした。

なお、当研究所で作成するこの試案は、一か年間ぐらい各方面に検討していただき、より妥当なものに修正してから本県の基準として発表されることを希望するものである。

1.2 研究経過の概要

この研究を進めるに当たって、われわれは最初に原理的な問題として次のような疑問をもった。

(1) 定時制分校といっても、その教育内容からいえば定時制中心校もしくは全日制高校と何ら異なるべきものはない。したがって施設についても同様であつて、この点からいえば、定時制独立校もしくは全日制高校の基準をそのまま適用もしくは応用すればよいのであって、特別に新しく定時制分校施設基準というようなものを作る必要はないのではあるまいか。

(2) 実際問題として定時制の教育は勤労青少年教育の一環として全日制とは異なる点があり、特に分校においては、その地域との結びつきが強く、各分校それぞれの地域性や特殊性が著しいのではないか。こうした個々まちまちな条件のもとにある分校に一つの基準を設けることが果して意味のあることであるかどうか。また、それら条件の異なるいずれの分校にも適用し得る基準を作るとするならば、それは言い得ても実際にはほとんど不可能なことではあるまいか。

以上のように考えてみると、定時制分校の基準ということは、理論的には筋の通りぬきがするのである。しかしそれは「基準」という言葉に、あまりにも規範性を強

く意識し過ぎている結果でないかとも考えられる。当面の問題は、現に個々まちまちな貧困な分校施設をいかにして育て高めるかにある。そのために要望されている基準作成なのである。こうした目的を果すためにどのような基準を出すかが問題なのである。基準という言葉をもっとゆるやかに、今日の分校施設充実の一応の目安と考えればよいのではないか。——このような了解のもとに一応原理論はおあずけにすることにした。しかし実際には、ここに問題にした(1)と(2)の疑問は、この基準作成の最終的段階にまであらわれてきた問題だったのである。

われわれは、研究の手始めとして、高等学校施設に関する法規類、その他関係文献を種々調査研究した。(註1)

一方また具体的に分校の実態を知るために、全県84校の定時制分校に対し、施設関係の実態調査を行った。

(33年11月) その結果は、分校施設の貧困さと多様性が想像していたとおり明らかにされた。

この実態調査の結果に見られる分校の現状と、関係法規類を勘案し、特にまた今日におけるこの基準作成の意義を考える時、今回の基準はおよそ次のような立場に立つことが最も妥当なものでないかと考えた。

(1) 高等学校としての教育内容を質を下げずにおこな

いうる最低限のものを保持する。

(2) 定時制分校としてのそれぞれの特色を尊重し、その独自の発現を妨げないように幅をもたせる。

(3) 現実の県内分校の実態から見て、およそこの辺なら無理がないと考えられる線を出す。

このような立場で第一次試案が作成されたのである。

なお、この間に、紫雲寺・庄瀬・見附・塩沢等、特色ある施設の比較的整っている分校を実地に見学し、試案作成の参考にした。

34年2月、定時制高校長、主事、分校主任、各職業科代表等、学校関係者10名(注2)と、県教育庁関係主事7名の参集を得て、この第一次試案について検討をしてもらった。(注3) この会においては、高等学校としての教科内容の指導ということが全面的に強調され、(この点を明確にしないために、常に現実との妥協のもとに分校の施設はいつまでも整備しないのだといわれる。)結果においては、文部省の高等学校施設基準案をはるかに上回る第二次試案が生れた。これは第一次試案の修正案ではあるが、その作成の基本態度が異なるので、別個の案といわねばならない。いわば前に述べた(2)の疑問にこたえたのが第一次試案であり、(1)の疑問にこたえたのが第二次試案であるといえよう。また見方をかえれば、前者は数年後にはある程度実現可能な現実案であり、後者は理想案であるともいえるであろう。なおこの会において、定時制分校の農業教育のあり方について議論がわき、実習地の必要、不必要、それと関連して、農業に関する教科の施設については、ついにはっきりした結論が出ないでしまった。

3月上旬、この第一次試案・第二次試案の二案について文部省の係官の意見を求めた。(注4) その回答としては、基準というからにはやはり相当高いものを考えてよい。しかし高等学校施設基準案を余り上回ってもいけない。一応その辺を標準に考えるのがよい。実際問題としては、高いものと低いものと二案を示してよいのではないか。また実習地については、定時制分校としても農業に関する教科を履習する時数と人数とに応じてこれを持

つことが必要であるという意見であった。

われわれは、この指導を参考にして、さきの案に多少の修正を加え、第一試案、第二試案として二つの案をもここに発表することにした。これに対し今後各方面のじゅうぶんの検討と批判をお願いしたいと思う。

(注1) 高等学校設置基準

学校施設改訂基準案の解説(文部省管理局教育施設部)

学校施設シリーズ 第1集～第4集(同上)

産業教育振興法

新潟県高等学校施設基準表(新潟県教育委員会)

定時制課程のみの高等学校施設基準表案(同上)

(注2) 白山高等学校長

宮村 堅弥

沼垂高等学校定時制主事

平井 一栄

新潟南高等学校定時制主事

阿部 碩三郎

新発田農業高等学校紫雲寺分校主任

浮須 義信

加茂農林高等学校庄瀬分校主任

南雲 八郎

三条実業高等学校燕分校主任

西方 清七

新潟商業高等学校教諭

宮沢 義朗

新潟商業高等学校教諭

山田 義一

水原高等学校(安田分校)教諭

佐藤 ウタ

新津高等学校教諭

広野 ムツミ

(注3) この会の冒頭において、この基準案は分校の統廃合の材料には使わないというはっきりした県側の意志が要望され、については基準案の前文にそのことを明記してほしいとの話があった。県基準案として後日発表される機会ある時のためにここに記しておく。

(注4) 管理局教育施設部計画課

岩崎事務官

初等中等教育局中等教育課

西村課長補佐

同

鮫島係長

同

内牧事務官

2. 基 準 試 案

2.1 普通課程ならびに各課程共通の施設

この表は4学級160名の規模の定時制分校の校舎ならびに屋内運動場の施設基準を示すものである。

		施 設 名	床 面 積 (m ²)		備 考
			第一案	第二案	
A 校 舎	教 室 部 分	一般教室	280	280	70m ² 4教室
		理科教室	108	108	
		" 準備室	70	70	
		(音楽教室)	(90)	(90)	必要に応じ
		(図画教室)	(90)	(90)	必要に応じ
		(工作教室)	(90)	(90)	必要に応じ
		被服教	81	117	洗たく室、準備室を含む、女子20名と考える 準備室を含む、女子20名と考える
	分 部	調理教	77	98	
		図書館	90	93	
		" 付属室	—	28	
B 屋 内 運 動 場	管 理 部 分	職員室	42	56	生活指導室をかねる
		応接室	28	28	
		保健室	28	42	
		生徒会	28	70	
		直仕室	16	16	給食室をかねる場合は床面積35m ² 必要に応じ
		給湯室	16	16	
		(給食庫)	(35)	(35)	
		倉庫・洗面所	45	45	
		昇降口	45	45	職員用・生徒用
		炭置場	55	55	職員用・生徒用
B 屋 内 運 動 場	小 計	計	1,384	1,663	()内の面積を含まず
		1 人 当 り	8.65	10.39	
	付 属 室	体育館	496	660	あるいは浴室
		更衣室	20	20	
		用室	20	25	
		衣室	—	25	
		室	—	20	
		所	—	10	
	小 計	計	536	760	
		1 人 当 り	3.35	4.75	
計 (A+B)	合 計	計	1,920	2,423	
		1 人 当 り	12.00	15.14	

2.2 普通課程で職業科目選択の場合必要な施設

	施設名	床面積 (m ²)		備 考
		第一案	第二案	
農業選択の場合	農業教室	99	99	選択する生徒数、科目の内容、授業時数等により、床面積に増減を考える。 同上
	" 準備室	56	56	
	農具室	36	36	
	収納室兼作業室	84	84	
商業選択の場合	商業実務室	—	99	
工業選択の場合	工業教室	—	117	
	" 準備室	—	70	

2.3 職業課程に必要な施設

2.1 の施設に次のものをつけ加える。ただし、家庭に関する課程においては、2.1 の施設のうちから家庭科施設を除き、次のものをつけ加える。

	施設名	床面積 (m ²)		備 考
		第一案	第二案	
農業に関する課程	農業教室	99	99	左記のほか、実状に応じ温室、畜舎、養蚕室等をつけ加える
	" 準備室	70	70	
	農具室	54	54	
	収納室兼作業室	99	99	
	農産加工室	117	117	
	農業工作室	117	117	
商業に関する課程	商業実務室	117	117	
	タイプライティング室	—	99	
家庭に関する課程	被服教室	117	117	
	調理室	40.5	40.5	
	教習室	117	117	
	研究室	21	77	

2.4 解 説

(1) 一般教室は課程によっては利用率がかなり低くなるが、一応4教室とした。

(2) 社会科教室は一般教室もしくは図書館を兼用することとしてこれを除いた。

(3) 被服教室・調理教室は1学級の半数20名を対象として考えた。40名を対象とする時は教室はさらに大きなものを必要とする。

(4) 調理教室は利用率が極めて低いと思われるが、高等学校の特殊性から他の教室との兼用を避けてこれを設けた。

(5) 倉庫・物置の床面積はそれぞれのすべての合計である。

(6) 廊下はそれを除いた教室部分・管理部分の合計床面積の、第一案は35%、第二案は40%をあてた。

(7) 体育館は積雪地帯である本県の特長事情により特に大きなものを考えた。

(8) 普通課程で職業科目選択の場合の施設は、その科目の内容・選択生徒数・単位数・授業時数等によりそれぞれ異なってくる。それが実質的に職業課程に近い内容をもつ場合には、その施設も職業課程のそれを準用されたい。

なお職業課程で他の職業科目選択の場合もこれに準ずる。

(9) 1学級生徒数が20名前後の場合には当然施設の床

面積は縮小されてよい訳であるが、将来の見通しを考えあまり小規模の設計にならないよう注意したい。

(10) 学級が多い場合は実状に応じてこの基準を応用されたい。たとえば農業課程4学級被服課程4学級の8学級の場合、基準表の家庭課程の施設に農業課程に必要な施設をつけ加え、さらに2教室ほど設ければ、ほぼ充足したものになるであろう。

(11) 夜間の定時制で小中学校の施設を共用する場合で

も、次の施設は定時制の専用としてもつことが望ましい。

第一案……職員室・理科準備室・家庭科準備室・体育用具室・図書室・倉庫物置

第二案……理科室・保健室・生徒会室を第一案のものにつけ加える。

この場合上記施設の床面積は、基準表のそれにこだわらず、実状に応じて考える。

3. 校地および実習地について

3.1 校 地

文部省の学校施設基準案の「校地面積基準案」には次のように示されている。

	校 地 (屋外運動場をふくむ)	屋 外 運 動 場
高 等 学 校 (普通課程)	3学級以上 6学級以下 $17,500\text{m}^2 - 1,300\text{m}^2$ (6 - 学級数)	6学級以下 $8,400\text{m}^2$
	6学級以上 $17,500\text{m}^2 + 1,600\text{m}^2$ (学級数 - 6)	6学級以上 $8,400\text{m}^2 + 550\text{m}^2$ (学級数 - 6)

これによれば4学級の場合、校地 $14,900\text{m}^2$ 、屋外運動場 $8,400\text{m}^2$ となる。

校舎敷地は原則として校舎面積の3倍としてあるから

当研究所の基準試案(普通課程の場合)について計算すると、次のようになる。

	校 舎 敷 地 (A)	屋 外 運 動 場 (B)	校 地 (A + B)
第 一 案 の 場 合	5,760	8,400	14,160
第 二 案 の 場 合	7,269	8,400	15,669

基準試案から割出したこの校地面積は、「校地面積基準案」に示すところと大体において一致している。

以上の点からみて、普通課程4学級の場合、ほぼ $15,000\text{m}^2$ 程度の校地が必要ということになる。ただし、屋外運動場 $8,400\text{m}^2$ (70m × 120m) は200mトラックを

とるにはやや無理な点もあり、これをじゅうぶんにとろうとするならば、それだけ余裕をみる必要がある。

ちなみに高等学校設置基準(第17条)では次のようになっている。

校		地	屋 外 運 動 場	
普 通 課 程		1人当り	70m ²	1人当り 30m ² (ただし、全面積は15,000m ² を下らないこと)
農 業	" }	"	110m ²	
水 産				
工 業	" }	"	70m ²	
商 家 庭				

ただし第28条によれば、定時制においては「当分の間、これによらなくてもよい」ことになっている。

3.2 実 習 地

農業課程の定時制分校として実習地をどの程度もつべきかという問題については、この研究の途上において次の二つの対立する意見があった。

A 実習地を必要とする意見

生徒を指導するには教師自身まず実地に作っているのと実験的研究をしてみなければならない。また定時制分校が地域の農業センターとして活動し、魅力ある定時制教育を行うためにも、実際に学校の実習地でよい成績をあげて見本を示すことが最も効果的である。(地域の人々はそのことによって始めて信頼し、ついてくる。)これらの点から相当の広さの実習地をもつことが必要である。

B 実習地を不必要とする意見

全日制と異なって定時制においては、実習圃場は生徒の各家庭に設けて巡回指導すべきである。学校では土壌分析をすとか、病菌の検査をすとか、そうした点で地域のセンターとして活動すべきである。(地域のセンターという点では、他の農業諸団体と協同のもとに、学校としての位置づけをすることが大切である。)このような意味から、たとえ実習地を学校でもつとしても、それはショーウィンドウ的な、もしくは試験栽培的な、ごく僅かの実習地をもつにとどめるべきである。

この二つの考えは、この研究の過程においては、ついに解決を見ないでしまった。この問題については、今後皆さんにじっくり検討をお願いしたいと思う。ただわ

れわれの一応の見解を述べるならば、以上の二つの考え方や、実際の各分校の実習地保有状況が1人当り15~20 m^2 程度の学校の多いこと、ならびに今日の農業の教育内容等から考えて、生徒1人当り20 m^2 程度の実習地をもつことが妥当なのではないかと思うが、どうであろうか。4学級160名とすると、田2段に畑1段程度となる。また普通課程で農業選択の場合も、その科目の内容、単位数、授業時数、選択生徒数により一概にはいえないが、生徒1人当り10 m^2 程度を一応の標準と考えてはどうであろうか。今後この問題を検討していただく際の材料として一案を提供しておく。

ちなみに、実習地の基準に関する参考資料としては次のようなものをあげることができる。

・高等学校設置基準

農業科生徒1人当り 250 m^2 ただし定時制は「当分の間これによらなくてもよい」ことになっている。

・学校施設基準案

高等学校農業課程の実習地についてはふれていないが、中学校の実験実習地について次のようにでている。

農業を主とし学習する生徒1人につき20 m^2

・小中学校施設設備基準(新潟県教育委員会)

職業・家庭科第一群の施設として

300人まで1人につき6 m^2 (水田と畑1.8段)

4. 県内高等学校定時制分校施設の現況

4.1 実態調査結果の一覧表

県内高等学校定時制分校34校について昭和33年11月現在で行った施設に関する実態調査の結果を一覧表にしたものである。整理の都合上次のように類別してかかげた。

昼間に授業する分校

普通課程(29校)	8~13
農業課程(16校)	14~19
課程併置(5校)	14~19
昼間・夜間ともに授業する分校(4校)	14~19
夜間に授業する分校(30校)	20~25
実習地	26

(科目と週時間数)

学 校		科 目										解析Ⅱ	幾何	物理	化学	生物	地学	保健	体育	英語	音楽	美術	書道	家庭一般	被服	食物	保育家族	
		国語甲	国語乙	漢文	社会	日本史	世界史	人文地理	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ																	
関越豊川笹長豊西東三寺上西上湯浦仙矢原名能大高保関岩真赤高	原路	9	5	2	4	4	4	8	9			2	1	3	1	5		2	8	14	2	6	3	4	5	6		
		10	7	3	8			9	9			2		2	2	6		2	8	9	2	8						
	浦東	9		4		5	3	3	9			2		3	8	3		3	6	13				4	10	5		
	岡	9	5	4	3	5	3	2	9	3		2			5	4	5	2	7	14				家庭24				
	浦	11		1		3	5	3	9				2	2	8	5		2	8	8				4		2		
	実	11		2		3	5	3	9			解Ⅰ ₃			8	5		2	8	8				4		2		
	川	9					3	8	9						2	10		2	7	8				2	6	4	4	
	川	2	9			3	8	3	6			解Ⅰ ₂	3		2	5		1	8	8				4	8	4	2	
	川	9	2				6	8	9						2	7		4	5	8				2	6	4	4	
	泊	9	2				6	8	9						2	10		2	7	6				2	6	4	4	
塩北	谷	8	2	2		5	3	5	12				1	9	4	5			8	12				8	5	4		
	谷	8	4		3	2	6		9					9	5	3		4	8	8			8	4	15	9	2	
	谷	10			8		5		6			2			6	5		3	7	9	5			8	8	8		
	谷	11			3	5	4		9			2			8	6		2	6	8			8	4	10	4		
	沢	12	4			3	9		10			一教2		7		5		2	8	9			6	4	6	6		
	佐	9	4			5	10		11					7	5		2	8	12			4	4	3	4			
	田	9	3	5	5	5		4	7			2		4	4		2	8	8					2	10			
	代	10	8		4		8	3	3			解Ⅰ ₂			5	7		1	8	8				4	7	4		
	通	10	6		3	4	4	6	6						6	5		3	8	8			1	4	11	4		
	生川	立	9	2			5		4	6	3			3	5		5		1	8	8			4	4	11		2
谷		10	4	1	4	4	2	6	5			2		8		3		1	9	9	4		4	4	10	2	2	
谷		10	2	2		3	8		12	3				3	4	5		2	6	13			4	4	7	5		
根		9	3		2	8	3		9			3		4	5	3		2	8	13			5	4	6	6		
内		9		2	2	5	4		9				3	5	5	2		2	7	9			4	4	8	5	2	
谷		9		2	2	5		7	9				2	5	2	5		3	9	17			4	4	9	6		
船		9		2	2	7	3		9				3		7	5		2	9	11			4	4	13	5		
野		12	4	4	2	3		7	5	2			1	2	2	5		2	8	13	4		4	4	10	6		
泊		9	8	3	2		9	4	14	5		5			5	4		2	6	19	3			一家456	10	10	4	
千		10	2		7		6		7							6		2	8	9	4		2		20	7		

家庭經營	被服材料	被服經理	意匠	仕立	手芸・染色	調立・理	商業一般	商事經濟	經濟	商業法規	商業簿記	會計	計算實務	商業美術	綜合農業	土・肥料	作物保護	農產加工	農林測量	作物	園芸	畜產	農業經營	農業一般	林業一般	耕種	工業	持活
2							6	4	3		5	4	6		農業 24			2					2	8			4	
				12											10	2		2				2	2					
				15							2	1			12	2						2	2					
				14	2										5				7				1	8	8			
2				9	4												2	2	2			2	7	10	8			
				12	4												4						6	8	10			
2				9	4													2				6	7	10	8			
											2	2							2		2							
2		2					5	2		2	6	3	2		23													
							2	2			5	4	4		24													
				8			3			2	工商 23	6	6	實踐 2	24													
							4																8					
											4			4		2				4		2						
2				10	2		4				4		8		9													
				2	7	2							5		14													
2				20	8						8					2							4	13				
2				4	2		3				7	4																
							1				1	2			12													
															12													
							2		2		5	7	實踐 3															
							4	2			4	2	2										2	6				
											10		8															
		1		11											32									2		4		
					5								3		28													4

分校	校舎																屋内運動場			
	管 理 部 分																体育館	付属	便所	廊下等
放送	職員	生活指導	保健	生徒会	宿直	公仕	給湯	倉庫置	便洗面	昇降口	廊下	自転車置場	電話	暗室	小計					
関原	° 10							16	6°	4	46.25°	4			82.25	240		24	27	
越路	° 14							° 2	1	3					20	91		18	157	
豊浦	° 13.3				° 3.5		° 1.5°	0.8°	5.9°	4.5°	67.2°	5		° 0.8	98.5					
川東	° 8.3				° 6			° 3°	7.5°	7°	47.5			° 0.5	79.8	65				
笹岡	° 16							° 4		° 6°	34°	8			60	240		22		
長浦	° 12								20°	3°	43°	10			78	248				
豊実	° 9				° 6		° 4		° 12°	3°	32				66	128				
西川	° 8				° 3.5			° 6°	9°	8°	13				47.5	° 50.5				
東川	° 9				° 4		° 4°	2°	8°	5°	10				42	° 8				
三川	廊下利用			10.5				9		11	13.5	教室として利用			44					
寺泊	° 10			° 4°	4			° 5	19	16°	57°	2			115		149			
上塩谷	° 8	° 3 (兼放送物置)						° 2°	1° 1	3°	15.5°	2			33.5	120		24	24	
西谷	° 7				° 7°	3°	3°	6°	5°	2°	22°	4			55					
上北谷	° 8 (教室の一部使用)									1		° 2.5			9	160		20	10.5	
湯沢	° 12				° 3				° 3°	4°	23				45	200				
浦佐	° 18				° 1.5			° 1.5	12	24°	26°	3			83	150				
仙田	° 6						8°	2	24	29	58	6			127	158	8	18	15	
矢代	° 7											° 3			7	72		12		
原通	° 20				° 7.5			° 25.5°	2°	11°	67		° 0.25		133.25	° 82°	2°	10		
名立	° 20				° 3			° 3°	6°	1°	26.5°	5			59.5	145	6			
能生谷	° 10							° 2		° 6°	47°	5			65	155		26		
大川谷	° 11.25				° 3.5°	4		° 3°	17.5°	9°	75.45				123.7		用具 3.75			
高根	° 1.5°	° 5			° 3			° 1.5	16°	2°	20°	55			49	160				
保内	° 12				° 4 (兼保)				36	15°	52.5°	3			119.5	84			5	
関谷	° 10				° 3			° 23°	19°	24°	35.5°	4			114.5	° 80				
岩船	° 0.5	° 8.75		° 28.3	° 4°	1.5		° 3°	6°	6°	14°	9			72.05		° 15.6 (柔道)		° 4.5	
真野	° 10				° 3		° 炊事 3 (兼調理)	° 3°	2°	12°	21°	10			54	240				
赤泊	° 10.89				° 2.5			° 2°	8°	2°	59.04°	3.5°	° 0.5		84.93	220				
高千	° 10							° 6		° 6°	56				78	414	19	55	28	
計															2045.98					
平均															70.6					

注 °印専用部分、数字は坪数、イタリック数字は室数を表わす。自転車置場は床面積に含めない。

小 計	教 室 部 分													計				
	一教 般室	化学	付 属	音楽	被 服	調理	準備	図書	付 属	農 具	収作 納業	温室	鶏 舎	農木 業器 土材	小 計	専用部分	共部 用分	総床面積
291	84.75 4			20		12 (兼音)		8							124.75	118.75	378.25	497
266	57. 3	21		20		22 (兼被)									120	116	290	406
	65.4 4	20. 4	8		16.7			2.6							136.1	234.6		234.6
65	80. 4	20 (兼農生)			18			8							126	205.8	65	270.8
262	67 4				20	6	8								101	161	262	423
248	64 4				16										80	138	268	406
128	51 5				12				19						82	148	128	276
50.5	62 4		3		10	6.5 (兼農加)									81.5	179.5		179.5
8	36 4				8		2								46	96		96
	38 3	10.5				6									54.5	38	60.5	98.5
149	104 5				9			8						4	125	205	184	389
168	37 3							1.5							38.5	71	169	240
	(一部廊下利用)																	
	56. 4	8			8			4		3					79	134		134
190.5	52 4				6 (兼調)			4 (廊下利用)							62	71	190.5	261.5
200	72 4				16 (兼調)										88	133	200	333
150	64 4				10										96.5	121	208.5	329.5
199	22.5	20 (兼一般)		20 (兼一般)	20			10 (一般教室として使用)							70	8	388	396
84	64 4		3.5		18	20									105.5	92.5	104	196.5
94	76 4	16 (兼物生)	16 工作		20	16	4	16 炊事							176	403.25		403.25
151	67.5 6				15										67.5	127	151	278
170	70 4				26. 25			5 (廊下利用)							116.25	155	196.25	351.25
3.75	75 3	20.625 (兼物)	2.5		18. 75	9. 375		7.5							133.75	261.2		261.2
160	72 4				廊下 利用			教室 を兼 用							72	95	176	271
89	80 4				30 (兼調)										110	144.5	174	318.5
80	92 4														92	286.5		286.5
20.1	63.5 4				16		2.5	5							87	199.15		199.15
240	56 4				20	20		10 (兼家)							86	100	280	380
220	83.15 5	18.55		20	18. 15			7.26							146.71	211.64	240	451.64
516	66 4				30	20				7		3	3		129	207	516	723
4202.95															2832.56	4461.39	4629	9090.39
144.9															97.7	153.8		313.6

昼間・農業課程の分校

課程	学 校	本校からの距離		学 級 編 成					週	
		里 程	所 要 時 間	1 年	2 年	3 年	4 年	計	月	火
農	高 士	7 km	35 分 (自転車)	1 22	1 27	1 21	1 17	4 87	1~4 1~4	1~4
"	黒 姫	12	30 (バス)	1 34	1 25	1 29	1 27	4 115	1・2	1~4
"	高 柳	23.4	120 バ70 ト50	1 30	1 24	1 22	1 10	4 86	1・2	1~4
"	小 国	29.5	110 キ40 バ45 ト25	1 31	1 23	1 20	1 29	4 103	女 (1~4)	1~4
"	黒 川	8	37 バ35 ト 2	1 22	1 21	1 17	1 10	4 70	3・4	1・2
"	庄 瀬	9	43 バ25 ト18 キ 5	1 24	1 22	1 25	1 19	4 90	1・2・3 1~4	女(2・3・4) 1~4
"	山 本	8	45 デ25 ト15 キ 5	1 14	1 27	1 17	1 16	4 74	1~4	1~4
"	種 芋 原	16.6	160 バ40 ト120	1 20	1 20	1 16	1 8	4 64	1~4 1~4	1・2 1~4
"	松 之 山	32	130 (バス)	1 52	1 42	1 38	1 29	4 161	4	1・2・3
"	牧	14	100 バ50 ト50	1 36	1 34	1 30	1 16	4 116	1~4	1~4
"	保 倉	12	60 (バス)	1 35	1 32	1 19	1 23	4 109	1~4	1・2・3
"	上 美	15	60 (バス)	1 35	1 37	1 30	1 34	4 136	1・2・3 1~4	1・2・3 1~4
"	河 崎	15	60 (バス)	1 34	1 32	1 14	1 23	4 103	1・2 女(4)	1・2 女(3)
"	松ヶ崎	24	90 (バス)	1 23	1 23	1 21	1 24	4 91	1・2	1~4
"	二 田	15	60 キ30 ト30				1 6	1 6		4
"	東 谷	4	20 (バス)	1 28				1 28	1	1
	平 均	15.28km	72.5分	29.3人	27.8人	22.8人	19.4人	24.8人		

昼間・課程併置の分校

普・商	葛 塚	12	50 バ40 ト10	普 商	69	45	39	28	1 3 4	181		1~4
農・家	木 崎	12	30 (バス)		50	25	25	16	4 4 8	116	1~4	1・2 1~4
" "	紫 雲 寺	8	30 バ25 ト 5		53	47	25	22	4 4 8	147	1~4	2・3 1~4
普・家	加 治 川	6	33 キ 6 ト27		56	41	28	21	4 4 8	146	1・2・4 1~4	3・4 1~4
" "	安 田	9	30 (バス)		47	34	29	20	4 4 8	130	1~4 1~4	1・2 1~4
	平 均	9.4km	34.6分		30.6人	21.3人	16.2人	11.9人	20人			

昼夜間・課程併置の分校

昼・家	新 関	6.3	50 バ10 ト40 キ35		22	11		14	10	33 24	57 ⁴	1・2 1・2
昼・農	黒 崎	29.2	59 デ16 ト 8		19 41	27 34	12 30	18 24	76 129	205 ⁸		1~4 1~4
昼・普												
昼・商	吉 田	8	40 キ15 ト25		30 34	22 28		32	23	52 117	169 ⁸	1・2 1・2
昼・普												
昼・農	見 附	24	70 バ 7 ト18		32 53	26 37	23 36	25 29	106 155	261 ⁸		1~4 1~4
	平 均	15.87km	54.8分		33人	26.4人	24.5人	21.5人	26.6人			

登 校 日					中 心 校 学 習			
水	木	金	土	備 考	学 年	科 目	年間時数	備 考
1~4		1~4		4月~7月	3	総農	34	8月初旬寮に収容6泊 7日規律ある生活で学 習する
1~4	1~4	1~4	1~4	9月~11月	4	化学		
3・4	1~4	1・2	1~4		4	農・家	35	
3・4	1~4	1・2	3・4		4	同上	35	
1・4	1~4	2・3	1・2	冬期は全学年一日増	4	同上	35	
3・4	1・2	1~4		冬期全学年四日登校				
3・4	1・2	1・3		4月~11月中旬	1	総農	4	工作 加工・温室園芸 果樹剪定・農学実験 土木
1~4	女(1・2・3)	女(1~4)	女(1・2)3・4	11月下旬~3月	2		12	
					3		6	
1~4	1~4	1~4	女(1~4)		4		6	
	1~4	3・4		4月~11月	3	農業工作	4	夏期休暇中寄宿舎に宿 泊
1~4	1~4			12月~3月	4	加工・農工	4	
					3・4	土肥	14	
1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3					
1~4	1~4	1・2	1・2	5月~6月と9月~10月 には1・2年4日3・4年2 日登校				
1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3	4月~10月5日 11月~3月6日				
1~4	1・2・3	1~4		4月~10月	1~4	畜産	7	8月上旬
1~4	1~4	1~4	1~4	11月~3月				
1~4	1・2	1~4	3・4					
1~4	1~4		特別指導 HP	11月~12月全学年4日 1月~3月 " 5日	3・4	農・理・家	16	8月上旬
		4			4	農・家	各35	夏期休暇中寄宿舎に合 宿
	1		1					

	1~4		1~4					
	1~4	1~4		4月~11月	家3	食物	8	野菜の加工実習
1~4	1~4	1~4	家(1~4)	11月~3月				
1~4	1・4	1・2		同上				
1~4	1~4	1~4	家(2・3)					
1・2	1~4	3・4	1・2・3	普通課程				
1~4	1~4	1~4	1~4	家庭課程				
	1~4	3・4						
1~4	1~4	3・4		夏期				
	1~4	カ1~4		冬期				

1・2	1・2	1・2	1・2	5月~7月・9月~11月 4・8・12~3月は毎日				
	1~4		1~4	4月~10月				
	1~4		1~4	11月~3月				
1・2		1・2		同上				
1~4		1~4		同上				
1~4	1~4	1~4	1~4	4月~10月	1~4	農	各12	
				11月~3月				

(科目と週時間数)

科目 学校	国語甲	国語乙	漢文	社会	日本史	世界史	人文地理	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	解析Ⅱ	幾何	物理	化学	生物	地学	保健	体育	英語	音楽	美術	書道	家庭一般	被服	食物	保健・家族
高士	17	1	1	3	5		11	9			解Ⅰ 4			10	8		4	4	7			2	4	13	2	2
黒姫	9			2	3	3	時事 3	6						3	3		2	7	6				4	7	4	9
高柳	9			5	3	3		6						3	3		2	7	6				4	9	7	3
小国	9			5	3	3		6						3	3		2	7	8				4	9	7	3
黒川	10		3		6		4	7			一教 2			5	3		1	9	8				4	4	4	
庄瀬	10					3	6	6						3	3		2	8	4				4	10	4	2
山本	13			4		10	6	7							8		2	8					4	20	4	2
種芋原	9					2	5	6						3	5		3	7	4				4	10	10	
松之山	10	2	2	4			4	6					3	10	4		2	7	4				4	8	4	
牧	22			1		6	3	8			2		6	4	3		2	8	6			4	4	10	5	
保倉	12			4		4	4	12						4	4		2	7	4			4	4	17	5	3
上美	14			5	6		9	14			3			9	9		2	8	11				一家 5	7	5	6
河崎	11			3	3	5		8				2	3	5	6		2	7	7				4		4	2
松ヶ崎	9			4		3	3	9				3		5	5		2	7	10				4	12	8	
二田	2					時事 3											2								6	
東谷	3				3			3							3			2	2							

葛塚	8		3		3	5		9			2			5	3		4	5	11							
木崎	18	2				12	6	12			解Ⅰ 6				6		3	14	4				4	12	2	
紫雲寺	18					12	6	12			解Ⅰ 3				6		4	14	4				4	2	4	2
加治川	20	2	2		10	7	4	18				3	7	5	11		2	16	8			4	4	10	10	
安田	16		1		6	9	6	11			2	3	3	8	11		1	16	8			2	4	2	6	

新関	8	2	2			6	3	7				2	5	3	3		2	7	5			4	4		4	
黒崎	18	1	5	7		7	10	15			2	2	5	8	8		3	16	24				4		9	1
吉田	14	2			7	12		11					6	3	6		1	12	16	2		2				
見附	19	2	4		3	11	6	17	3		2	6	3	3	6		4	16	15					2		2

分校	校舎 管 理 部 分																講堂・		
	校長	応接	放送	職員	保健	生徒会	宿直	公仕	給湯	更衣	倉庫置	便洗面	昇降口	廊下	自転車場	小 計	講堂	便付所	体育館
高 士				° 10.5			° 3				° 5 (一部廊下利用)	24°	12°	40.25°	12	94.75			200
黒 姫				° 7.5			° 3		° 4 (兼調)		° 23	6°	4°	35.6°	10	83.1			
高 柳				° 11			° 9	7.67			° 1.75	7.5°	6.25°	21.24°	6	64.41			° 50
小 国				° 16			° 4						° 6	° 36	16	62			° 84
黒 川				° 9	5		5	3	5		° 3	10			3	40			160
庄 瀬				° 8							° 4			° 44		56			214
山 本				° 9			° 3.25	2.25°	° 3		° 0.85	4.5°	2.25°	38.45°	24	63.55			
種亭原				° 8.45			° 3.33		1.75		° 11.28	1.33°	3°	28.91		58.05			
松之山				° 18.08		° 3	° 4	2.25°	3.8°	5.25	° 8.8	9.45°	6.9°	50.96°	4.5	112.49			112
牧		° 2° 0.5°		° 10			° 4		° 2.5			° 0.5 27	2°	° 34	2	82.5 (公民館)	45 の共	56 用)	139
保 倉				° 16			° 3.75		° 2.5		° 6.5	12.25°	3.5°	° 38	10	82.5			105
上 美		6		° 19			° 7	5	5		32	14	26°	° 89 47		250			161
河 崎				° 20			° 4					° 12	4.5°	° 37	6	77.5			220
松ヶ崎				° 14							° 4.5		° 1.5	25.5°	10.5	45.5			57.5
二 田																			
東 谷				° 5			° 5	1.5			° 4.75	3°	13.97°	9.35		42.57			
計 平 均																1,214.92 75.91			

葛 塚				° 12			° 3					3		° 2		20			250
木 崎				° 14			° 3				° 6	9°	4.5°	° 72	6	108.5			310
紫雲寺				° 8							° 3	1.5		° 15	9	27.5			182
加治川				° 20 (兼図書)							° 5	2		° 21	8	48			96
安 田				° 12°	8°	1			2.25 (兼保健)				° 6	° 49	9	78.25			224
計 平 均																282.25 56.5			

新 関				° 12 (兼宿直)							° 12	1.75°	2°	° 11 (兼図書)		38.75			
黒 崎			廊下 利用	° 12			° 4				° 11	10°	4°	° 48	10	89			240
吉 田				° 12		集会 12	° 6	° 6	° 4 整備	° 4	° 12	14°	8°	° 92.5	8	164.5			182
見 附	° 6			° 20		° 42	° 6	° 6	° 5 整備		° 13	1°	11°	° 73	24	180			° 112
計 平 均																472.25 118.1			

注 °印専用部分、数字は坪数、イタリック数字は室数を表す。自転車置場は床面積に含めない。

屋内運動場				教 室 部 分														計		
付属	便所	廊下等	小計	一般室	化学	付属	被服	調理	図書	農具	収作納業	フ1レム	豚舎	羊舎 ・羊舎 山	鶏舎	農加工	小計	専用部分	共用分	総床面積
			200	° 54.25 4			° 20	° 3			° 10.25						87.5	158.25	224	382.25
				° 76.8 4			° 16.5 (兼化家)	° 4° 2.5						° 8.3	農工作 12		120.1	203.2		203.2
	° 7.5		57.5	° 73.01 4 (兼生家)				° 2.75° 7.23						° 3.61 3.62			104.89	226.8		226.8
	° 8° 2		94	° 100 5	15		° 24	° 12			° 8			° 6			165	321		321
			160	° 36 2			° 9										45	57	188	245
			214	° 55 3 農理実 20			° 12	° 4° 飼料			° 12.5 1.45	° 3 2			° 18		126.95	182.95	214	396.95
				° 49.3 4			° 10.1° 7.5	° 7.5									74.4	137.95		137.95
				° 46.22 4	7.5		° 8° 9.5° 6.5							° 6 (含豚舎)			83.72	141.77		141.77
			112	° 72 4 (兼物生)		8° 25.83	° 20° 2	° 8					° 8		° 24		179.83	292.32	112	404.32
3	6	3	249	° 68 4 理科	° 16	3° 24° 2	° 16° 9° 2° 9°	° 9° 2° 9°			° 4° 2	° 1° 0.5° 2°	° 0.5° 2°	° 7.5			162	217.5	276	493.5
			105	° 64.5 4 理科	° 20 廊下 利用		° 16					° 12.5					113	195.5	105	300.5
		29	190	° 77 4	19		° 39 2 (兼農図)				° 7 2	° 18					160	285	315	600
			220	° 90 5 (兼理農)			° 20	職員室の 一部利用			° 6	一般教 室利用					116	193.5	220	413.5
	13		70.5	° 50 3	16		° 20 (兼調)				° 3	° 14.5					103.5	149	70.5	219.5
				° 20										° 5			25	25		25
				° 19.5			° 16.5	° 3.75	° 6.5								46.25	72.32	16.5	83.82
			1,672														1,713.14	2,859.06	1,741	4,603.06
			104.5														107.1	178.7		287.5
	30		280	° 74 4		° 5		° 7	タイア ラ イ テ ン グ 6								92	109	283	392
			310	° 60 4 生物	° 20		° 44° 2	° 20									144	252.5	310	562.5
	27		207	° 32 2			° 16° 20										93	119	208.5	327.5
			96	° 69.5 5 (調兼)	° 12° 4		° 35° 2	° 12° 4	家準備								136.5	184.5	96	280.5
	36		260	° 72 4 (兼物生)	° 12		° 44° 2	° 20° 8°	実習	8							164	242.25	260	502.25
			1,153														629.5	907.25	1,157.5	2,064.75
			230.6														125.9	181.5		413.0
				° 24 2			° 20 (兼化)	廊下 利用									44	82.75		82.75
			240	° 68 4	16° 4°	° 10° 10°	° 4										112	185	256	441
			182	° 64 4	° 25° 4°	音楽 16	° 16° 25°	簿記 16									166	330.5	182	512.5
° 8			120	° 80 4 物理	° 20		° 35	° 20° 20°							° 12		187	487		487
			542														509	1,085.25	438	1,523.25
			135.5														127.3	271.3		383.8

夜間に授業する分校

課程	学 校	本校からの距離		学 級 編 成					週	
		里 程	所 要 時 間	1 年	2 年	3 年	4 年	計	月	火
普 1年1 商 ク ラ ス	普 曾 野 木	12 km	45分 バ30 ト15	1 23	1 27	1 15	1 25	4 90	1~4	1~4
	" 今 町	12	30 (バス)	1 28	1 25	1 24	1 26	4 103	1~4	1~4
	" 燕	8.7	35 キ15 ト20	3 99	3 114	2 81	1 56	9 350	1~4	1~4
	普 亀 田	10.6	35 キ15 ト20	1 46	1 30	1 39	1 34	4 149	1~4	1~4
	" 白 根	13	60 バ40 ト20	1 36	2 61	2 53	1 40	6 190	1~4	1~4
	" 小 須 戸	9.1	25 バ20 ト 5	1 43	1 42	1 24	1 33	4 142	1~4	1~4
	" 白 井	8	23 (バス)	1 16	1 11	1 10	1 8	4 45	1~4	1~4
	" 両 川	10	45 バ35 ト10	1 31	1 26	1 20	1 20	4 97	1~4	1~4
	" 内 野	8.1	40 キ20 ト20	1 25	1 13	1 14	1 11	4 63	1~4	1~4
	" 曾 郷	4	7 (キシヤ)	1 17	1 22	1 25	1 25	4 89	1~4	1~4
	" 湯 川	12.5	71 キ11 バ10 ト50	1 16	1 11	1 17	1 14	4 58	1~4	1~4
	" 脇 野 町	5	40 キ10 ト30	1 24	1 29	1 27	1 8	4 88	1~4	
	" 片 貝	10	35 (バス)	1 18	1 15	1 16	1 25	4 74	1~4	1~4
	" 古 谷	5	15 (バス)				1 40	1 40	4	4
	" 城 内	7.5	33 キ 8 バ20 ト 5	1 26	1 31	1 14	1 21	4 92	1・2女	1~4
	" 大 巻	6.85	30 キ10 ト20	1 42	1 28	1 26	1 15	4 111	1~4	1~4
	普2.3.4 年 商 1年	塩 沢	3.6 キ10 ト20	2 63	2 57	1 32	1 29	6 181	1~4	1~4
	普 中 条	4	20 キ 5 ト15	1 28	1 23	1 34	1 29	4 114	1~4	1~4
	" 千 手	7.5	30 (バス)	1 32	1 30	1 25	1 31	4 118	1~4	1~4
	" 田 沢	12	45 キ30 ト15	1 24	1 29	1 24	1 24	4 101	1~4	1~4
	" 妙 高	23	90 キ60 バ10 ト20	1 27	1 25	1 18	1 23	4 93	1~4	1~4
	" 青 海	7	30 キ10 ト20	1 34	1 19	1 31	1 30	4 114	1~4	1~4
	" 西 海	7	30 バ20 ト10	1 20	1 13	1 11	1 13	4 57	1~4	1~4
	" 早 川	8	45 バ30 ト15	1 31	1 37	1 27	1 18	4 113	1~4	1~4
	" 根 知	13.2	50 (バス)	1 28	1 21	1 21	1 12	4 82	1~4	1~4
	" 沢 根	5	25 (バス)	1 50	1 16	1 21	1 7	4 94	1~4	1~4
	" 小 木	5.4	38 バ18 ト20	1 33	1 25	1 16	1 12	4 86	1~4	1~4
	" 石 山	8	35 (バス)	1 37	1 29	1 24	1 19	4 109	1~4	1~4
	" 大 形	7.5	35 バ15 ト20	1 43	1 31	1 32	1 21	4 127	1~4	1~4
	" 松 浜	10	40 (バス)	1 47	1 43	1 32	1 45	4 167	1~4	1~4
	平 均	3.79km	37.1分	30.3人	26.8人	24.2人	23.8人	26.5人		

登 校 日					中 心 校 学 習			
水	木	金	土	備 考	学 年	科 目	年間時数	備 考
1~4	1~4	1~4	1~4		3・4女	食物 生物	10 4	8・1月各1日 8月
1~4	1~4	1~4	1~4		3・4	理・家	20	夏・冬期休暇利用
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4		1~4	理・家	8	夏期休暇利用
1~4	1~4	1~4	1~4		3 4	家 家・化	各16	夏期休暇・日曜利用
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4	土曜日は午後1.00登校	3・4	理	24	農閑期利用 交通費半額負担
1~4	1~4	1~4	1~4	月2回土曜学習				
4	4	4	4					
1~4	1~4	1~4	1~4	一学期間月～金夜、 土は昼間授業				
1~4	1~4	1~4						
1~4		1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4	冬…火水木 午後 土…土 昼…月				
1~4	1~4	1~4	1~4	土は隔週	3・4	体 理 家	6 12 12	7月下旬
1~4	1~4	1~4			3・4	理・家・社	各10	三学期土・日
1~4	1~4	1~4	1~4	三学期昼間授業	同上	同 上	同上	同 上
1~4	1~4	1~4	1~4	12月～3月遠距離通 学者の為に昼夜共に 授業を行う	同上	同 上	同上	同 上
1~4	1~4	1~4	1~4	12月～3月昼間授業 月火金土…4時間、 土…8時間	同上	同 上	同上	同 上
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4	1月～3月土を欠く	3・4	化	10	7月・11月各1回
1~4	1~4	1~4	1~4					
1~4	1~4	1~4	1~4					

(科目と週時間数)

科目 学校	国語甲	国語乙	漢文	社会	日本史	世界史	人文地理	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	解析Ⅱ	機何	物理	化学	生物	地学	保健	体育	英語	音楽	美術	書道	家庭 一般	被服	食物	保健 ・家族
曾野木	11		4		2	5	6	9				2	5	3	3		2	11	11			2	4	6	6	
今 町	10	3		1	3	8		8	2				4	7	4		4	8	8			4	4	10	4	
燕	23	2			24	2	6	17	6		3		12	13			2	18	31				2	2		
亀 田	9		5		3	8	4	9			3		6	5	3		1	7	12			4	4			
白 根	13	8			6	8	8	12					5	11	7		2	5	18		6	2	2	5	5	
小須戸	10	8		3	8	2	3	9			5		2	7			1	8	8	2		6	5	2		
白 井	9	4		4	7	3	3	12					5	3	5		2	6	5	4			4	5		
両 川	10	2	4	2		10	2	9					5	5	5		3	6	9	2		2	7		2	
内 野	9	5	2	4	4	3	3	9			2	8	5	5			2	8	14			2				
曾 郷	9	4		2		3	8	9			5			3	4		2	8	15			4				
揚 川	9	2			3	8	3	9						5	5		2	7	6				2	8	4	4
脇野町	11	3		2	5		1	8		2	2		9	3	4		1	8	10					16	12	
片 貝	11	2		7	5	3		9				1		6	7			8	12			2	4			
吉 谷	2	2	2			5												2	2							
城 内	9	13	2	5	5	3	10	9			10	2	3		5		2	8	14				4	4	2	
大 巻	10	6				5	5	9					8	5	5		2	7	6			4	13			
塩 沢	17	2	2	3	6	9	10	13			解Ⅰ 2	2	5	6	4		1	7	13			2	6	3	2	
中 条	9	3		6	2	4	4	9				2	2		4	4	3	7	11	2			6	6	4	
千 手	11			2	4	2	8	9				2	5		5		2	8	10			2	4	4	2	
田 沢	11	4		4	2		5	6	6				5		3	3	2	8	8			2	4	10	2	
妙 高	11	2		3			10	6	3				3		5	6	2	7	12			4	5		3	
青 海	9			5	5	3	4	9	3		3		6	5			2	7	13				7	6	7	
西 海	9	8		5		4	5	9				2	5	5	4		2	7	14			2	4			
早 川	11	1		5	4	4		9	3				4	5	5		3	7	16			2	15			
根 知	10	2	4	2	5		5	6	3	2				6	5		1	8	10			6	6	6	5	
沢 根	12		4	3	3	3		7				2		8	3			8	12	1		1	1	4	5	
小 木	11	6	4		5	8		9			3		5	3	5		2	7	15		6		4			
石 山	11	2				5	3	9			解Ⅰ 3			4				9	9				4	2	4	
大 形	10	3	3		5	10		9					5	5	5		2	7	9			8	6	8		
松 浜	10		3		5	10		9							5		4	7	6	4		5	8			

家庭經營	被服材料	被服經理	意匠	仕立	手・染色	調・立・理	商業一般	商事經濟	經濟	商業法規	商業簿記	計算實務	文書實務	綜合農業	土・肥料	作物	園芸	畜產	農業經營	農業一般	林業一般	耕種	製圖	機械設	計製圖	機械工	作材料	工業	特活
		2		7					8		8			16							4				8	4	6		7
							6				4	4	4																
							18					6	4																
							5				5	4	5																
							2				6	4	2								6	2							
							2				2	4	2				4				4								
							4		3		5		2																
							6														6								
				13	6		8					2		4			4		4	4	6	6						2	
							11					4	2								5								
							2			2	4							2				4							
							8														8								
							8				4	4	3		4						4		2						
							8		4			4									8								
				4			4				6	4	4	4	10			2											
							6	4			4	4	4	12						2									
							4				7																		
							14													4								14	
							12														12								
							7					2	4								11								
3				18							2																		
							4			5	2	2		3		2	4	2		6									
							4				4	6					4	4		2									
											8	4																	

実 験 実 習 地

区 分 分 校		課 程	総 面 積 (坪)	田 (段)	畑 (段)	生徒一人当り坪数	
笹 西 東 三 浦 矢 名 赤 高	岡 川 川 川 佐 代 立 泊 千	普	210	0.7		2.2	農業選択生徒について
		"	120	0.25	0.15	1.57	
		"	150		0.5	5	
		"	50		0.16	1.04	
		"	75		0.25	3	
		"	240	0.8		3.6	
		"	120	0.4		4	
		"	150		0.5	4.55	
		"	330	0.4	0.7	8.7	
高 黒 高 小 黒 庄 山 種 松 保 上 河 松 二	士 姫 柳 国 川 瀬 本 原 山 倉 美 崎 崎 田	農	150		0.5	2.7	
		"	900	3		7.83	
		"	330	0.8	0.3	3.9	
		"	370	0.67	0.57	3.5	
		"	90	0.1	0.2	1	
		"	1,800	5	1	20	
		"	210		0.7	2.83	
		"	350	0.8	0.3	5.5	
		"	1,235	2.5	1.62	7.67	
		"	660	1.2	1	5	
		"	690	1.3	1	6.3	
		"	244	0.81		1.79	
		"	4,200	9	5	91.2	
		"	660	0.2	2	7.25	
		"	300		1	50	
木 紫 黒 見	雲 崎 寺 崎 附	農・被	1,050	2	1.5	19	農徒について 農業課程生
		"	810		2.7	11.8	
		昼・農	417	0.72	0.67	9.7	
		夜・普	960	2	1.2	7.1	
小 両 石	須 戸 川 山	夜・普	293		0.98	1.06	
		"	498		1.66	5.1	
		"	300	1		2.7	

4.2 実態調査からみた分校の現状と問題点

定時制分校は4学級の学校が大部分である。(84校の中71校, 85%) (表1)

学級平均生徒数は25名。第1学年の時30名, それが漸次減少して第4学年の時には20名になる。(表2)

表2 学級平均生徒数

	1年	2年	3年	4年	計
昼間 普通 農業 併置 通業 置	27.9	25.5	19.2	18.2	22.7
夜間	29.3	27.8	22.8	19.4	24.8
計	30.6	21.3	16.2	11.9	20.0
昼間 夜間 計	33.0	26.4	24.5	21.5	26.6
夜間 計	30.8	26.8	24.2	23.8	26.5
計	29.8	26.0	21.6	19.9	24.5

表1 校種別学級規模別学校数

学級数		1	4	6	8	9	合計
単 独 の 課 程	普通	1	26	1			28
	農業	1	55	1			57
	併置	2	14				16
	計	2	14				16
併 置 の 課 程	普通		1	1(昼2夜4)			1
	農業		1	1		1	2
	併置		1	2	2		4
	計		1	2	2		3
合 計	普通	2	44	1	4		50
	農業	1	26	2	2	1	30
	併置	3	71	3	6	1	84
	計	3	71	3	6	1	84

交通不便なへき地にある分校も少なくない。隔遠地手当支給対象校になっているものは, 1級地7校(東川※

※仙田, 松之山, 保倉, 牧, 松ヶ崎, 赤泊), 2級地1校(種芋原)である。

施設の面についてみると, 小中学校と一部同居するものが大部分で, 全体としてみると, 専用部分34%, 共用部分66%になっている。(表3)

講堂, 屋内運動場等は小中学校のそれを共用する場合が多いから, 今これを除いて考えてみると, 次の表にみられるごとく, 専用部分100%の分校は, 42校(うち夜間1校)で, 全体のちょうど半数, これを昼間授業の分校だけについていうと, その76%がこれに当る。(表4表5) この数字だけからみれば, じゅうぶんとはいえないが悲観すべき状態ではない。つまりこれらの分校は, 体育以外の授業は小中学校を借りずに分校専用の教室で行っているわけである。これらは一応独立校舎をもつものと考えられる。

表3 一校当り平均坪数

床面積		専用部分		共用部分		総坪数
課程		坪数	%	坪数	%	
昼間	普通	153.8	49.0	159.8	51.0	313.6
	農業	178.7	62.2	108.8	37.8	287.5
	併置	181.5	43.9	231.5	56.1	413.0
昼夜間		271.3	73.9	109.5	26.1	380.8
夜間		38.6	8.7	404.9	91.3	443.5
計		124.6	34.2	239.5	65.8	364.1

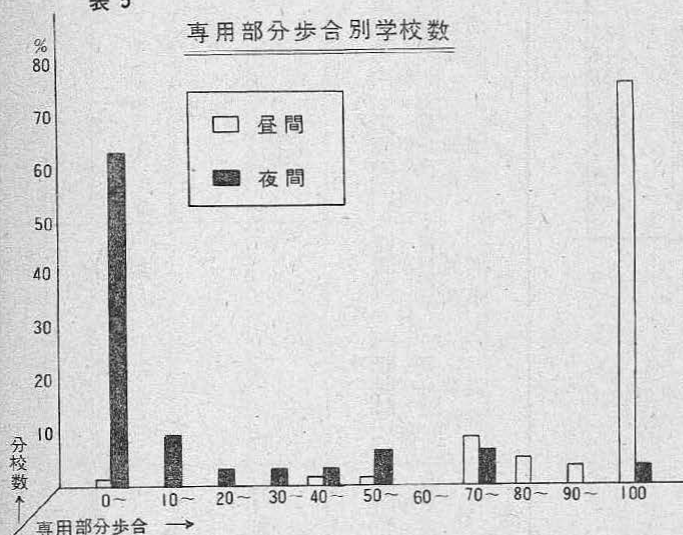
表 4 専用部分歩合別学校数
(除 講堂・屋内運動場・便所洗面所)

区分	昼普	昼農	昼併置	昼夜間	夜間	計
0～	1				19	20
10～					3	3
20～					1	1
30～					1	1
40～	1				1	2
50～	1				2	3
60～						
70～	3	2			2	7
80～	3					3
90～	2					2
100	18	14	5	4	1	42
計	29	16	5	4	30	84

それではこの独立校舎はどのような規模に建てられているのか。今専用部分 100 % 以外のものも含めて、4 学級規模の分校 73 校についてその専用部分床面積をみ、さらにこれを坪数別、歩合別に整理したのが次の表である。(表 6、表 7)

表 5

専用部分歩合別学校数



この表は、講堂・屋内運動場・便所洗面所を除いた専用部分の歩合を昼間54校・夜間30校について、おのこの学校数を%に換算したグラフである。

表 7

専用部分床面積ならびに歩合別学校数
(除 講堂・屋内運動場・便所洗面所)

坪数	%	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～	100	計
0～	昼夜	1 17	3	1		1							23
50～	昼夜						2		2	1		4	11
100～	昼夜						1		2	1		10	15
150～	昼夜									1		8	9
200～	昼夜										2	8	10
250～	昼夜								1			1	2
300～	昼夜											2	2
350～	昼夜											1	1
計		18	3	1		2	3		6	3	2	35	73

表 6

専 用 部 分 床 面 積 一 覧 表

(除 講堂・屋内運動場・便所洗面所)

	100 % の 校 舎 (35校)				昼 間 (13校)				夜 間 (25校)			
	校 名	床 面 積			校 名	床 面 積	%		校 名	床面積	%	
昼 (普 通)	豊川	浦東	228.1	普	関越	原路	118.75	59.07	曾野	木	23	6.57
	川	岡	198.3		三	路	116	83.45	今	町	10	3.66
	毎	浦	161		寺	川	38	43.42	龜	戸	27.25	12.6
	長	実	138		浦	泊	205	92.76	須	井	12	5.61
	豊		136			佐	121	72.23	小		8	4.6
	西	川	120	通	仙	田	8	4.62	両	川	8	2.01
	東	谷	80		矢	代	92.5	82.95	内	野	17	14.4
	上	谷	70		能	谷	155	85.51	曾	郷	18.65	7.15
	塩	谷	129		保	内	144.5	74.67	揚	川	20	10.5
	北	谷	71		真	野	98	74.11	脇	町	41.7	7.25
	湯	沢	130	農 業	赤	泊	203.64	91.04	片	貝	35	22
	原	通	307.25		黒	川	67	78.82	大	巻	95	70.47
	名	立	121		上	美	285	71.96	中	条	16	8.6
	大	谷	239.95						千	手	10	4.86
	高	根	95						田	沢	10	4.86
昼 (農 業)	関	谷	187.5						妙	高	8.75	2.1
	岩	船	173.05						青	海	24	5.17
	高	千	207						西	海	8	3.37
									早	川	88	55.4
									根	知	97	56.52
									沢	根	6	5.45
									小	木	111.5	43.26
									石	山	42.35	8.75
									大	形	25.53	8.37
									松	浜	15	6.49
併 置	高	土	158.25									
	黒	姫	201.2									
	小	柳	176.47									
	庄	国	227									
夜	山	瀬	202.95									
	種	本	133.45									
	松	原	140.44									
	保	倉	282.87									
併 置	河	崎	217									
	松	崎	183.25									
		崎	181.5									
		附	149									
夜	葛	塚	109									
	黒	田	246									
	吉	附	341.5									
	見		368									
夜	城	内	62.75									

注 併置校は葛塚(普1・商3)、黒崎(昼農4・夜普4)、吉田(昼商2・夜普4)、見附(昼農4・夜普4)なので一応4学級・昼間とみた。

次に分校は専用部分としてどのような施設をもっているのか、各室ごとにみたのが次の表である。(表8)

表 8 専用部分所有分校数一覧表

課程別		昼 普 通 (29校)	昼 農 業 (16校)	併 置 (9校)	夜 間 (30校)	計 (84校)	専 用 率	平均坪数
室 名								
管 理 部 分	校 校			1		1	1.19	6
	応 放					1	1.19	2
	生 活	3	1			5	5.95	0.9
	長 接	28	15	9	30	82	97.6	11.85
	送 員	1				1	1.19	3
	指 導							
	室 室							
	室 室	1		1	2	4	4.76	10.05
	室 室	1	1	3	3	8	9.53	9.84
	室 室	17	12	5	8	42	50	4.02
	室 室	3	4	2		9	10.72	3.24
	室 室	5	6	2	1	14	16.68	3.21
	室 室							
	庫 庫	21	11	7	7	46	54.7	5.49
	所 所	15	9	6	3	33	39.3	6.7
	洗 洗	22	12	6	2	42	50	5.73
	降 降	23	14	9	4	50	59.5	39.5
	車 車	18	10	7	10	45	53.6	10.28
	置 置	2				2	2.38	0.37

屋 内 運 動 場		4	2	1		7	8.33	72.0
教 室 部 分	一般教 理科(化物)教 被服教 調理教 準備書具作 園農收 温納業 フレ一ム 畜産土木器材 業業加工工作 農業 実習 タイプライ 簿記 その他	(113) 28 7 5 19 8 4 13 2 1 1 1 1 1	(56) 16 8 2 13 4 9 (9) 8 6 1 1 12 2 1	(33) 9 5 4 (9) 6 7 6 1 1 1 1 1	(29) 9 1 5 4 4 6 1 1 13 1 2 1 1	(231) 62 21 16 42 19 4 34 11 8 1 1 13 1 3 1 2 2 1	73.8 25 19.5 50 22.6 4.76 40.5 13.1 9.53 1.19 1.19 13.57 1.19 3.57 1.19 1.19 2.38 2.38 1.19	16.43 17.14 5.15 14.87 13.45 4.13 8.24 4.98 10.22 3 1.45 3.97 4 18 12 8 5 16 1.875

註 () 内の数は室数を示す。専用率とは全分校に対する割合である。

なお、分校で屋内運動場を所有しているものについてその坪数をみると右の表のごとくである。(表9)

表 9 専用屋内運動場 (単位 坪)

	体育館	付 属	便 所	廊下等	計
西川	50.5				50.5
東川	8				8
原通	82	2	10		94
関谷	80				80
高柳	50		7.5		57.5
小国	84		8	2	94
附	112		8		120
計					504

以上の諸表でわかるように、分校の校舎の規模はかなり小さなものが多く、教室は狭小で、特別教室の保有率はかなり低い現状である。一例をあげれば、専用の理科教室をもつものは84校中21校に過ぎず、その平均坪数は17坪である。しかもこれが分校のもつ教室のうちで最大の広さをもつ教室なのである。※

※またこの規模が小さく専用教室の数が少ないところから、専用部分がいろいろに利用される。たとえば職員室は、応接室、図書室、理科準備室、家庭科準備室、体育用具室等を兼用し、一見雑然とした物置場の様相を呈している所も少なくない有様である。

次に課程別についてみると普通課程が全体の72%、農業課程が20%をしめているが、(表10) その教科内容をみると、下表のごとく職業科目の選択を多く含んでおり、一見総合高校めいた様態を呈している。(表11) しかもそれに対する施設はいっこうに備っていない。またこれを補う中心校学習も、農業課程の数校のほかは必ずしもじゅうぶんの考慮がはらわれているとは思えない。事実中心校との距離や生徒の実情からいってあい路が多いのであろう。

表10 課程別学級数

	昼 間	夜 間	計
普 通 課 程	125	137	262
農 業 課 程	74		74
商 業 課 程	5	3	8
家 庭 課 程	18		18
計	222	140	362

表11

職業科目選択状況(単独の課程について)

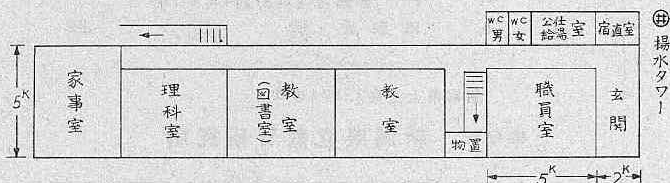
			一校当たり平均週授業時間〔 〕 数内は最低と最高				
			農 業	商 業	工 業	家 庭	計
普通 (昼間)	選択科目が農業・家庭の学校	10	24.8(16~38)			28.6(16~45)	53.4(32~83)
	" 農業・商業・家庭 "	15	16.1(8~38)	9.7(3~24)		24.1(4~47)	49.9(27~80)
	" 商業・家庭 "	2		19 (18~19)		26 (19~33)	45 (38~51)
	" 商業・工業 "	1		6	4		10
	" 家庭 "	1				18	18
	校数の合計〔 〕内は30時間以上の校数		25(4)	18	1	28(10)	
普通 (夜間)	選択科目が農業・家庭の学校	2	12 (4~20)			20.5(4~37)	32.5(8~57)
	" 農業・商業・家庭 "	13	10 (4~17)	11 (2~18)		13.8(7~20)	34.8(23~48)
	" 農業・商業 "	1	12	12			24
	" 商業 "	1		2			2
	" 商業・家庭 "	7		12.4(2~26)		10.9(4~25)	23.3(14~42)
	" 商業・工業・家庭 "	1		14	14	20	48
	" 農業・商業・工業・家庭 "	1	2	10	2	20	34
	校数の合計〔 〕内は30時間以上の校数		17	24	2	24(1)	
農 業	選択科目が農業・家庭の学校	14	45.4(34~60)			33.4(22~50)	78.8(58~98)
	校数の合計〔 〕内は30時間以上の校数		14(14)			14(9)	

以上みてきたところを一口にいえば、定時制分校はいろいろ複雑な問題を含む小規模総合高校の現状だといっ
ていいように思われる。このような定時制分校の現状を
みてその教育について考える時、まず施設の改善充実が
早急の問題であるように考えられる。

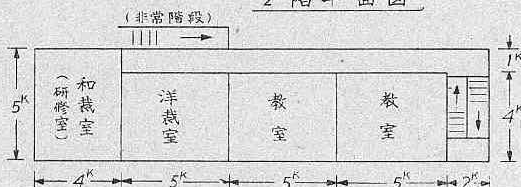
〔参考〕 国と県の補助金を得て総工費 860 万円で昨年12月竣工した新発田農業高等学校紫雲寺分校(農業・被服8学級 147名)は新しい分校施設として注目されるので、その平面図をかかげる。

紫雲寺分校校舎平面図

1 階平面図



2 階平面図



(研究担当者 大竹大三, 三善信一, 山野井嘉瑞, 小林正直)